



FILE 01

“TIERRA”

協会創立10周年記念

倉敷市国際交流協会は、平成13年4月9日に、国際交流を目的とした「国際姉妹都市提携委員会」と、国際協力・貢献を目的とした「国際交流基金運営委員会」が統合され、国際交流や協力・貢献を総合的に推進する目的で設立され、平成23年度に創立10周年を迎えました。年々会員数は増えており、現在では、個人会員211名、団体会員56団体となっています。創立10周年を記念して記念講演会と記念祝賀会が催されました。

<記念講演会>

平成23年6月7日協会総会後、テレビ・ラジオでお馴染みのイーデス・ハンソン氏をお招きして記念講演会を開催しました。多文化共生についてユーモアを交えながら語ってくださいました。



<記念祝賀会>

平成24年2月18日に倉敷市国際交流協会創立10周年記念祝賀会が盛大に開催されました。10年間の思い出の映像や、各姉妹友好都市からのビデオメッセージ、団体会員によるアトラクションなどがありました。



<倉敷市国際交流協会10年の歩み>

H13年	4月	協会設立①
H14年	9月	鎮江市提携5周年記念訪問団来倉②
	10月	カンザスシティ・ブルース&ジャズフェスティバルインくらしき
H15年	7月	SP市柔道訪問団来倉③
	10月	CH市30周年記念市民訪問団派遣
H16年	2月	CH市30周年記念彫刻・彫刻家交換事業
	4月	第6回日中書の交流展に中国の書道家・丁観加氏(鎮江市出身)来倉
	7月	第15回CH市訪問青少年生活体験団派遣④
	7月	第30回KC市訪問青少年生活体験団派遣⑤
H17年	2月	第1回CH市障害者親善大使派遣
	11月	鎮江市文化交流団来倉⑥
H18年	2月	倉敷天城高等学校とバーストースクールが教育連携姉妹校縁組
	7月	KC市ルースパーク内に茶室と日本庭園完成
H19年	7月	KC市くらしきウィーク⑦
	10月	SP市提携50周年記念訪問団派遣⑧
	10月	鎮江市提携10周年記念市民訪問団派遣
H20年	8月	第20回倉敷イングリッシュキャンプ
	11月	CH市提携35周年記念市民訪問団派遣⑨
H21年	9月	地球にスマイルinくらしき
H22年	1月	第1回外国人による日本語スピーチコンテスト
	3月	第1回SP市短期交換留学生派遣
	8月	第1回倉敷市少年少女友好の翼訪中団派遣
	10月	第20回倉敷国際ふれあい広場
	10月	ふれあい大運動会⑩
H23年		



<市民訪問団を派遣します>

平成24年度は、サンクトペルテン市と姉妹都市提携55周年、カンザスシティ市と姉妹都市提携40周年、鎮江市と友好都市提携15周年を迎えます。これら3姉妹友好都市とさらに友好交流を深めるため市民訪問団の派遣を予定していますので、ぜひこの機会にご参加ください。



FILE 02

“TIERRA”



姉妹友好都市との交流事業

<インターナショナルユースミーティング&短期交換留学>

サンクトペルテン市に大学生 2 名を派遣しました。

- ・インターナショナルユースミーティングに参加するため、5 月 10 日～17 日の期間で派遣。サンクトペルテン市とその姉妹都市の 4 市から学生 17 人が集まって、研修施設と一緒に宿泊し各都市のプレゼンテーションやアクティビティなどで交流を深めました。
- ・3 回目となる短期交換留学生は、2 月 29 日～3 月 20 日の期間で派遣されました。高校での授業はドイツ語で行われるのでかなり難しかったようですが、クラスメイトやホストファミリーに支えられ充実した滞在となりました。



<青少年生活体験団>

カンザスシティ市(35 回目)に 7 月 23 日～8 月 8 日の期間で高校生 6 名と引率者 1 名を派遣しました。毎日新しい発見をしたり、自分から積極的に英語でコミュニケーションをとったり…。帰国する頃には、団員の顔には自信が溢れていました。

※クライストチャーチ市への派遣は、現地での地震の影響により中止となりました。



<学生親善使節>

カンザスシティ市の女子高校生 4 人が、7 月 14 日～8 月 3 日の期間、市内でホームステイし日本の生活や文化を体験しました。ホストファミリーと過ごした時間が、彼女達にとって一番の楽しい思い出となりました。



<少年少女友好の翼訪中団>

8 月 1 日～6 日、倉敷市内小学 5～6 年生 16 名は、引率者 5 名と共に、中国の友好都市「鎮江市」と首都「北京市」を訪問しました。鎮江市では、ホームステイ、現地小学生との交流会、鎮江市政府への表敬訪問など、貴重な体験ができました。北京市では、万里の長城や天安門広場など、中国のスケールの大きさや悠久な歴史を感じさせる数々の建築物に、発見・感動・驚きに満ちた毎日でした。忘れられない夏休みの思い出とともに、ひとまわり大きく成長させてくれた中国訪問でした。



<鎮江市行政視察団受入>

12 月 11 日～13 日、鎮江市人民政府各部署から職員 6 名が来倉。倉敷市のまちづくり、交通政策、渋滞緩和対策などについて視察をしました。

写真は、表敬訪問と勉強会の様子。



<クライストチャーチ市障がい者親善大使>

クライストチャーチ市から障がい者 2 名を含む訪問団 5 名が、両市の障がい者交流を目的に、3 月 4 日～15 日の日程で来倉されました。期間中、ホームステイや、倉敷支援学校および住倉学園との交流、三菱自動車工場見学、ふれあいうオークへの参加などが行われました。





FILE 03

“TIERRA”

国内事業

国際協力・貢献

倉敷市出身の JICA ボランティアとして海外に派遣された方はのべ 135 人。これらボランティア経験者に協力していただき、市民の皆様が国際理解を深め、さらには国際貢献に関心をを持ってもらうことを目的とした事業を企画・実施しました。



＜ヨルダン倉敷交流事業
～ヨルダンの友だちと文通しよう～
：10月2日、11月5日＞

ヨルダン赴任中の松本さん(姉)と倉敷市在住の妹さんが架け橋となって、ヨルダンの子どもと倉敷の子どもが手紙を交換しました。また、Skypeによる両国の子どもの直接対話やヨルダン講座、JICA ボランティア事業説明を盛り込み、国際理解を深めました。



＜ザンビア
・スラム街の寺子屋先生
：10月22日＞

首都ルサカのスラム街にあるコミュニティスクールで、サッカー指導やエイズ予防活動を実施した相原さんが、ザンビアの生活や教育事情を報告しました。そして、参加者全員でザンビア主食の“シマ”作りを体験し、ザンビア人のパワーの源を味わいました。



＜中国・外語高校の
日本語教師
：10月22日＞

湖北省黄冈外国語学校で日本語指導をした吉田さんが、クイズや生徒からのビデオメッセージなどを交えながら、2年間の活動を振り返りました。中国語講座では、発音の仕方を覚えるコツを伝授され、参加者は早速声を出して練習していました。



＜タイに渡った日本語教師
-笑いと感動のボランティア体験記-
：2月25日＞

日本語教師の資格を持ってタイへ派遣された木村さんが、カンチャナブリーの公立高校での日本語指導や、日本とタイの高校生の交流活動について報告しました。プチ・タイ語講座では、タイ人の国民性を踏まえて、タイ人と仲良くなれる言い方なども紹介されました。



国際理解

倉敷市はここ数年、外国人観光客とりわけ中国人観光客が増えています。また、市内在住中国人は市の外国人登録者数の半分弱を占めるようになりました。多文化共生社会の実現のために、倉敷市国際交流協会は、中国語や中国食文化に親しむ機会を提供しています。「ニイハオ」から始まる国際理解。「食」から始まる国際理解。ぜひご参加ください。

＜零からの中国語&中国のあれこれ:4～9月 月1回＞

延べ 126 名が参加。市内在住中国の方を講師に、中国語や中国文化について楽しく勉強しました。

＜明日から使えるおもてなし中国語:12月20日&21日＞

延べ 61 名が参加。

中国語の発音の基礎、基本文型、挨拶を中心とする日常会話など、初心者でも中国語を構造的に理解できるように内容を工夫しました。中国茶を飲みながら、中国文化や在住中国人の生活、外国人観光客へのおもてなしなどの話も盛り上がりました。

＜中国食文化まるごと体験:1月25日(中国旧正月3日目)＞

参加者 35 名。

教えてくださった料理は、中国お正月料理代表「水餃子」shuǐ jiǎo zi と 薬膳スープ「花生湯」huā shēng tāng です。講師の門洪泉先生(華僑2世)が語る中国や中国人の話も、大変興味深い内容でした。日本生まれ、日本語しか話せないという華僑の方々も、私たちと共に日本社会を支えていると実感させ、収穫の多い講座でした。





FILE 04

“TIERRA”

国内事業

イベント



<倉敷国際ふれあい広場:10月16日>

秋の澄みわたる晴天の下、21回目となる倉敷国際ふれあい広場2011が開催されました。会場の倉敷市芸文館・友好の広場には、日本人だけでなく様々な国にルーツをもつ人々が集まり、世界の料理屋台やフリーマーケット、世界各国の歌や踊りのパフォーマンスや和 문화ワークショップ、英語俳句、外国人なんでも相談コーナー、民族衣装の試着などのプログラムを通して、国際理解と交流を深めました。また今年は、3月11日に発生した東日本大震災の被災者支援を目的としたチャリティバザーもあり、売上の一部が倉敷市を通して被災地に寄付されました。

<倉敷イングリッシュキャンプ:8月26~27日>

平成23年のイングリッシュキャンプは学生が宿泊しない日帰りのキャンプでした。宿泊しないことにより、荷物の整理、部屋分け、受付の手間が省け、沢山の活動そして充実した一日を過ごすことができました。

クラス活動では、倉敷市小中学校の外国人英語講師40名がジャマイカのダンスから漫画作りまで全部で16クラスを教えてくださいました。学生の興味に合わせ、スポーツ、技術、クラフトの三種類のクラスもあり、もちろん“オール・イングリッシュ”で行われました。キャンプファイヤと夜の活動がなくなり寂しく感じた人もいましたが、今後のキャンプが宿泊するタイプに戻ったとしても昨年の工夫をこらしたプログラムが参考になるでしょう。

イヤと夜の活動がなくなり寂しく感じた人もいましたが、今後のキャンプが宿泊するタイプに戻ったとしても昨年の工夫をこらしたプログラムが参考になるでしょう。

<姉妹友好都市からの東日本大震災に対する支援>

平成23年3月11日に発生した東日本大震災に対して、姉妹都市のサンクトペルテン市から1,112,600円(10,000ユーロ)、カンザスシティ市から6,178,683円(75,400ドル)の義援金がそれぞれ倉敷市に託されました。各地で開催されたチャリティコンサートのほかにも、カンザスシティ市のローガン・リトルトン君(10才)は5円玉でネックレスを作ることの思いつき、多くの義援金を送ってくれました。



<新規団体会員紹介> インドネシアと倉敷の文化交流会

平成21年に設立したインドネシアと倉敷の文化交流会は、ユネスコ・世界文化遺産に認定されているアングクルンの演奏を行っています。主な活動としてはインドネシアの子供たちへの教育支援を目的としたチャリティーコンサートや老人ホームの慰問などを行っています。日頃の練習活動は主に倉敷市福田公民館で行っています。

平成23年12月には、在大阪インドネシア共和国総領事館・総領事からアングクルン42台を寄付されました。また、倉敷市国際交流協会創立10周年記念祝賀会では素晴らしい演奏とアングクルン体験をしていただきました。

【発行者】倉敷市国際交流協会事務局

〒710-8565 倉敷市西中新田640
TEL:086-426-3015 FAX:086-426-4095
E-Mail:intntnl@city.kurashiki.okayama.jp
URL:http://www.city.kurashiki.okayama.jp/kurakoku/
ツイッター:http://twitter.com/#!/kurakoku

【会員募集中】

倉敷市国際交流協会では会員を募集しています。年会費は一口2,000円、法人・団体が一口5,000円です。会員の方には、講座・イベント情報や協会紙をお送りするほか、講座受講料が無料・もしくは割引になるなどの特典があります。国際交流等のテーマに少しでも関心をお持ちの方はぜひ協会にご入会ください。詳細は倉敷市国際交流協会事務局まで。



<団体活動紹介記事募集!!> 法人・団体会員のみなさんへ

当協会紙TIERRAに、団体活動を掲載してみませんか? 掲載ご希望の場合は、事務局までご連絡ください。